

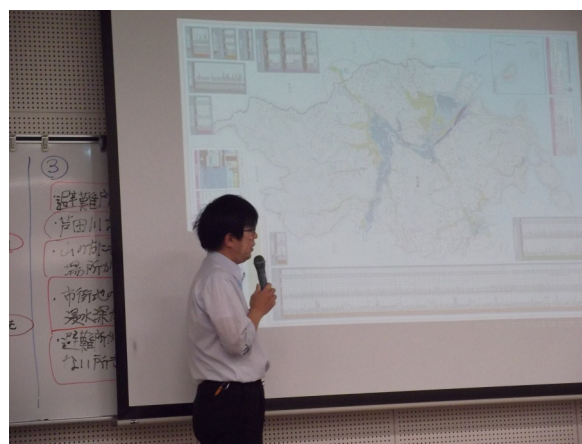
フィールド情報学

担当教員： 向井 厚志

履修年次・区分： 1～4年（共通－教養－人間と自然）

授業のテーマ： 地震災害のように広範囲の地域を巻き込む自然災害では、多くの人々の生活に重大な影響を及ぼすこととなり、自然現象そのものへの学術的な究明だけでなく、行政や地域社会の対応、避難行動等における心理的な側面、減災に対する工学的・社会的取り組み等、様々な学問領域にまたがる対応が必要となる。本講義では地震災害を例に取り上げ、多様な学問領域がひとつの課題に取り組むフィールド情報学について解説する。

この日の授業内容： 洪水ハザードマップ



「福山市洪水ハザードマップ」から得られる情報について、グループワークを行いました。浸水地域やその深さ、避難所、土砂災害、危険場所、地形など、いろいろなことが読み取れました。

ハザードマップには、国の指針によって必ず盛り込まなければならない「共通項目」と、それぞれの自治体で判断して掲載する「地域項目」があります。福山市のハザードマップには、芦田川流域の浸水被害や災害時に救援が必要な地域など、様々な情報がまとめられています。

(2015年10月取材)